

氏名	高橋伸方
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第5263号
学位授与の日付	平成28年3月25日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Evaluation of rapid immunochromatographic tests for norovirus in neonatal and infant faecal specimens (イムノクロマトグラフィ法を用いたノロウイルス迅速診断キットの新生児および乳児糞便検体における評価)
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

論文審査委員	教授 山田 雅夫 教授 小林 勝弘 教授 草野 展周
--------	----------------------------

### 学位論文内容の要旨

イムノクロマト法を用いたノロウイルス迅速診断キット QuickNavi-Norovirus (QN)と改良型の QuickNavi-Norovirus 2 (QN2) の新生児糞便検体における精度を比較した。生後0～12ヵ月まで毎月糞便を採取し、迅速診断(QN, QN2), および real-time RT-PCR よりキットの精度を求めた。81名より362検体を採取した。QNは、感度100%、特異度80%、陽性的中率4%、陰性的中率100%、全体一致率80%であった。QN2は、感度100%、特異度99%、陽性的中率43%、陰性的中率100%、全体一致率99%であった。QNの特異度は新生児期には33%であったが、4ヵ月には93%に上昇した。一方QN2の特異度は新生児期に94%で、1～12ヵ月までは100%であった。QN2はQNに比べ、新生児期および乳児期のノロウイルス感染症の診断において特異度が高い点で有用であることが示された。

### 論文審査結果の要旨

本研究では、ノロウイルス迅速診断キットの新生児および乳幼児糞便検体における精度を検証している。生後0-12ヵ月まで毎月糞便を採取し、イムノクロマトグラフィ法を用いたノロウイルス迅速診断キットQNと改良型QN2とreal time RT-PCRを用いて、ノロウイルスの検出を試みた。その結果、QNでは感度100%、特異度80%、QN2では感度100%、特異度99%であり、特に新生児期の特異度はQNでは33%、QN2では94%で、その後月齢とともに、QNの特異度は4ヵ月には93%に上昇、一方QN2の特異度は、1～12ヵ月まで100%であった。以上の成績は、QNに比べて、改良型QN2では、新生児期および乳幼児期のノロウイルス感染症において、特異性が高い点で有用であるという重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。